

# 会報誌 「しほこの樹」

## 第8号



### 【村松志保子と助産師顕彰会】

村松志保子は、明治・大正時代に医術の研鑽を深め産婆となり産婆育成に尽力し母子のために保健福祉的な慈善活動を展開した。当会では、助産師（産婆）として博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上のために活躍した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を現在実施している助産師あるいは、過去に活躍した助産師（産婆）を表彰しています。そして、村松志保子の志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。現在、会員105名で活動を行っています。

村松志保子助産師顕彰会 会員の皆様

平成25年6月吉日



村松志保子助産師顕彰会 会長 南野知恵子

### 「母子と助産師の日」記念イベントおよび祭事ご報告

平成25年3月8日、愛媛県伊予郡松前町にて「母子と助産師の日」の記念イベントを実施いたしました。午前のイベントは、高忍日賣神社の隣にある青葉幼稚園において行われました。岡本喜代子氏（武蔵野大学教授、日本助産師会会長）による講演「胎教と乳幼児教育におけるしつけの意義」—めげない、豊かな心を育くむために—をしていただきました。近隣の母子および愛媛県助産師会の助産師、全国から参加した助産師が熱心に講演に聞き入りました。

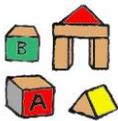
その後、助産師による母親たちへの個別育児相談等も行われました。相談者数は多くはなかったのですが、相談された方は各々満足しておられました。今後毎年行うことにより、地域に根付いていくであろうと思われま

す。午後は、全国唯一の助産師の神様をお祀りしている神社であり、境内に建立させていただきました“母子と助産師の碑”もあります高忍日賣神社にて、母子と助産師の日の祭事を行いました。

この祭事は、“安産福運大祭”として、毎年3月8日14時に行われることが決まっております。今年は、境内にのぼりも設置していただき、立派な祭事をして頂きました。

夜は、助産師交流会を県民文化会館別館にて行い、助産師各々の活動を聞くことにより、助産師としての多くの奮起をいただき、充実した時間となりました。

ぜひ、来年度は皆様方のご参加をいただきましたら幸いです。



### 顕彰会活動報告

#### 平成24年度事業報告

- 理事会 開催 4 回
- 第1回理事会 平成24年 7月：第14回表彰式典、総会について
- 第2回理事会 平成24年 9月：第15回表彰者の検討
- 第3回理事会 平成24年12月：「母子と助産師の日」イベントについて
- 第4回理事会 平成25年 4月：第16回表彰者の検討

#### 主な活動報告

- 平成24年 7月 平成24年度総会、第14回村松志保子賞等表彰式  
場所：墨田区役所1階（ミニシアター）
- 平成24年 7月 会報誌発行7号（7月発行）
- 平成24年 9月 村松志保子氏墓参り（谷中墓地）
- 平成24年 3月 「母子と助産師の日」記念イベント  
（記念講演・育児相談・祭事・交流会）

#### 「母子と助産師の日」会場

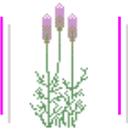
- 高忍日賣神社（たかおしひめじんじゃ）
- 所在地：愛媛県伊予郡松前町大字徳丸387
- 電話：089-984-8212
- 交通：JR予讃本線「北伊予駅」から徳丸方面へ  
徒歩15分、道後温泉より車で約30分



高忍日賣神社



愛媛県松山城



第14回 村松志保子助産師顕彰会式典 春の部 受賞のみなさま  
平成24年7月8日



第14回村松志保子賞等表彰式

会場：墨田区役所「リバーサイドホール1階ミニシアター」

受賞者代表ごあいさつ

記念講演1「いのちの教育・性教育の実践活動を通じて思うこと」小野本ヒロ子先生

記念講演2「大震災の支援活動」佐藤 榮子先生

記念講演3「沖縄県助産師会のバースセンター構想について」許田 英子先生

表彰者からの一言メッセージ



墨田区：山崎区長

2012年、第14回村松志保子助産師顕彰会の式展が7月8日、墨田区役所リバーサイドホールミニシアターで開かれました。今年度は村松志保子碑の建立、東京スカイツリー開業の年とも重なり、名誉顧問の山崎昇・墨田区長も臨席されました。記念講演は、いのちの教育・性教育、大震災の支援活動、沖縄県助産師会未来構想など意義ある貴重な内容でした。山崎区長からはレリーフに対するお言葉も頂きました。来賓には、札幌に日本で唯一の専門職大学院「天使大学大学院」を開設され、国内外で名のある近藤潤子先生の姿もありました。今、大震災の傷も癒えていませんが、赤ちゃんと助産師の絆、電子時代の現代、心を大切に思うのは「絆(ほだ)されて」の深い意味を知るやさしい町で 行われた表彰式でした。(原島早智子氏)



第15回村松志保子助産師顕彰会 郵送の部受賞

表彰者の方へ郵送で受賞していただきました。



平成二十四年第十四回  
村松志保子助産師顕彰会表彰者

村松志保子賞

小野本ヒロ子

(地域母子支援・母子保健活動)

許田英子(地域母子支援・先駆的活動

・看護教育・行政活動)

慶田はる子 (地域母子支援・助産師

教育活動)

斉藤葉子 (地域母子支援活動)

佐藤榮子(母子保健・看護教育・

災害支援活動)

陶山明美 (母子保健・看護教育活動)

西村若子 (地域母子支援活動)

浜田千恵子 (地域母子支援活動)

平澤美恵子 (助産師教育活動)

真鍋由紀子 (地域母子支援活動)

宮嶋文子(地域母子支援・母乳育児活動

特別賞

黒田優子 (地域母子支援活動)

桑江喜代子

(地域母子支援活動・先駆的活動)

権田倫子 (地域母子支援活動)

とわ助産院 (地域母子支援活動)

仲かよ (地域母子支援活動)

精励賞

坂本深雪 (地域母子支援活動)

山本久代 (地域母子支援活動)

感謝状

一般社団法人日本家族計画協会

(東日本大震災母子支援活動)

公益財団法人国際協力NGOジョイセフ

(東日本大震災国際支援活動)

社団法人日本助産師会

(東日本大震災母子支援活動)

平成二十四年第十五回郵送の部

村松志保子助産師顕彰会表彰者

村松志保子賞

真弓美代子

(地域母子支援・母乳育児活動)

(敬称略)





記念講演の概略を掲載いたしました。  
(文責:岡田)

### 記念講演1 「いのちの教育・性教育の実践活動を通じて思うこと」

小野本 ヒロ子先生

大学病院、診療所、大学の看護学科教員を務め、周産期センターの院内助産院開設にも力を注いできた。診療所時代から「いのちの教育、性教育」を実施。最近では中期中絶の増加に伴い小学校から「いのちの大切さ」を伝える授業の依頼をたびたび受ける。その際、助産師会のバックが強いと感じる。「いのちの教育、性教育」は助産師じゃないとできない仕事。たとえば妊婦さんを連れて行って児心音を聞かせるなどは、助産師だからこそできること。子供たちに、いのちの大切さや、望まれて生まれてきたことを伝えたい。これからも、この賞をもらったことを励みに、研鑽を重ねていこうと思う。

### 記念講演2 「大震災の支援活動」

佐藤 榮子先生

震災の際は、沢山の方々からご支援を頂いてありがとうございました。震災時は、電気がつかない、道路は寸断、飲み水がなくて2日間ほど歩き回った。その後の生活は一変して、取り上げた子供たちは全国各地に移住、県内の病院はほとんど閉鎖という状況だった。しかし多くの仲間が助けてくれた。今思うことは、就学前に子どもとお母さんが遊ぶことのできる施設が、早く各市町村にできてほしい。そしてお母さん達にストレスがかからないように、またストレスが虐待につながらないように、大事に自分の子供を育てられる環境を整えていきたい。病院の中で産ませるだけでなく、病院と地域の助産師が連携して母子を守って

### 記念講演3 「沖縄県助産師会のバースセンター構想について」

許田 英子先生

小学校4年で戦争を体験、5年生の時、家族は自決しようとしたが、私が「死にたくない」と家を飛び出したことで、家族も助かった。この出来事が、いのちとかかわった所以である。

保健師の資格を取得。助産師の資格を取るためにニューヨークにわたりライセンスを取得。その後は教育の場で就業。村松志保子先生の書物を読んで、この受賞は生涯で最高の栄誉だと思う。

さて、沖縄県助産師会(会長 桑江喜代子)は、「母子未来センター」設置のため、2011年1月市議会に働きかけ、理解と協力を求めた。私は“孤立する母親から駆け込み寺のように子育ての相談ができ、女性をサポートする施設”として最適であることをと訴えた。

多くの方々のお力を借りて、2013年1月に完成予定。(※2013年2月11日に落成式開催された)

「母子未来センター」は訪問者への相談業務や助産師の研修などのほか、十分な出産・子育てサービスが受

## コラム

詩人「金子みすず」  
[1903-1929]

～夏～



「夏」は夜更かし 朝寝ぼう。

夜は私がねたあとも、  
ねないでいるが、朝早く、  
私が朝顔起こすときゃ、  
まだま「夏」は起きて来ぬ。



村松志保子助産師顕彰会は、平成25年3月8日の“母子と助産師の日”に、愛媛県伊予郡にある日本で唯一の産婆乳母の祖神の高忍日賣（たかおしひめ）神社で、全国の助産師と再会をいたしました！

当日は、祭事も行われ宮司さまの講話や記念講演など盛りだくさんのイベントが盛大に開催されました。育児相談の会場である幼稚園の講堂では、子どもたちが自由にしながらお母様方と助産師たちが笑顔で向かい合っていました。その後、全国から集まった助産師仲間たちの交流会では、それぞれが情報交換や活発な意見交換がで

毎年3月8日を「母子と助産師の日」と定め、助産師の有志がこの地に集い、失われた母子の生命に深い哀悼の意と、先輩助産師のご遺功に感謝を表わしていきたいと考えています。

会員の皆様、高忍日賣神社にぜひお訪ねいただき“母子と助産師の碑”をご覧ください。

“母子と助産師の碑”は、あらゆる母子の生命に対して、哀悼の意を表すと共に、母子とその家族や女性のリプロダクティブヘルス/ライツの支援活動を生涯実践した先輩助産師への敬意と感謝の意を捧げ、世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを願い



ろうけん隅田秋光園の敷地内には、秋光園ゆかりの人達の記念碑があります。村松志保子氏の記念碑も設置されており墨田区の歴史を垣間見ることができます。ろうけん隅田秋光園は、隅田川沿いにある両国の介護老人保健施設です。江戸っ子気質を持つ下町の情緒が残る志保子ゆかりの地である墨田区、両国周辺を散策しながら、村松志保子記念碑をご覧ください。

### 村松志保子ブロンズレリーフ

母子への慈善活動と助産師教育を初めて行った産婆村松志保子女史を称えるレリーフ。彫刻家 田畑功作



### “村松志保子顕彰碑”

村松志保子の自立的・博愛的助産師活動と助産師教育発祥の地に安産を見守る記念碑。



介護老人保健施設 ろうけん隅田秋光園  
所在地：東京都墨田区横網2-7-13  
電話：03-5610-1235  
交通：JR総武線『両国駅』から徒歩8分  
都営大江戸線『両国駅』から徒歩5分

### <お願い>

村松志保子助産師顕彰会は、会費や寄付金などで運営しています。より充実した活動を継続していくために、当会の趣旨や活動にご賛同して頂ける会員やご支援の寄付金を広く募っています。また、現在ご活躍されている助産師や歴代のお産婆（助産師）さんなどの情報もご連絡をお待ちしております。（入会お問い合わせ先へ）

### 「村松志保子助産師顕彰会」入会のご案内

#### 【入会の方法】

本会の活動趣旨に賛同される方ならどなたでも入会できます。所定の入会申し込み用紙で申し込み、入会費及び会費の納入確認後、会長が入会を承認いたします。

入会金：5,000円 年会費：5,000円

#### 【お問い合わせ先・入会用紙送付先】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局  
住所：〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-5  
電話・FAX：042-635-7117

Eメール：otafuku-o@nifty.com.jp

#### 【会費等振込先】

口座名：村松志保子助産師顕彰会  
口座番号：郵便貯金 総合通帳  
記号（10040）番号（97136531）



### お知らせコーナー

#### —♪日本助産師会に行きましょう♪—

- ・保健指導室 勉強会（第1火曜日午後）
- ・楽しい子育て・孫育て講座（第1金曜日午後）
- \*場所は東京本部になります。



### 会員のみなさま

今年は梅雨前線のや台風の影響などで不安定な天候が続いていますが、体調など崩されませんように。みなさま、お身体ご自愛のほど、どうぞお元気で過ごしてくださいませ。

### お願い

当会では、みなさまの素敵なお活躍の声をお寄せいただき、会報でご紹介したいと思います。また、現在ご活躍されている方や歴代のお産婆（助産師）さんをご存知の方など、みなさまからのご連絡をお待ちしております。







